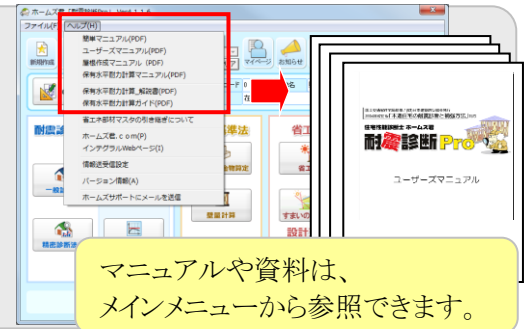
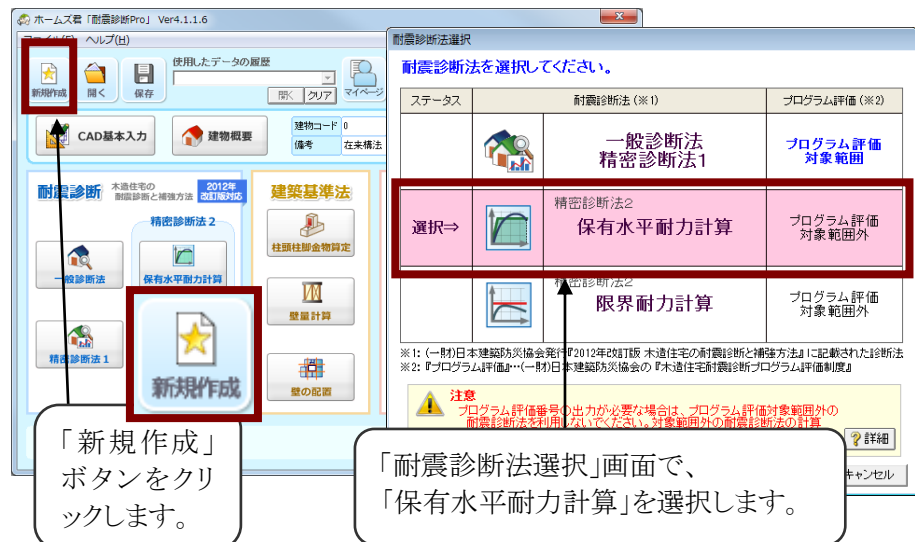


ホームズ君「耐震診断Pro」 保有水平耐力計算ガイド

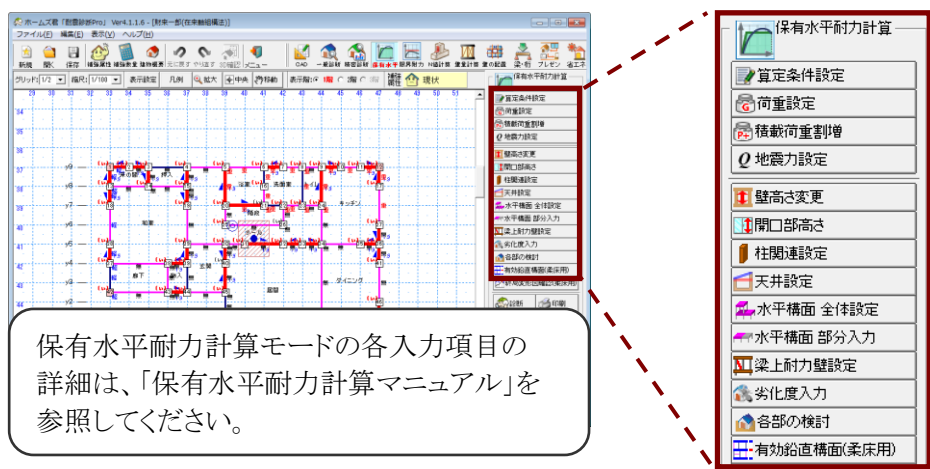
- 本オプションは、一般財団法人 日本建築防災協会発行「2012年改定版 木造住宅の耐震診断と補強方法」(以下、基準書)の「解説編 第5章 精密診断法2」で示されている診断法のうち、「(1)層の荷重変形関係に基づき、保有水平耐力を求める場合」の計算方法に対応しています。
- 保有水平耐力計算で建物の耐震性を評価するためには、前提として、地震力に対する許容応力度計算を行い、建物各部の安全性を確認することが必要です。別途検定・検討を行い、「⑥各部の検討」にて問題点を報告してください。
- 詳細は「保有水平耐力計算マニュアル」および「保有水平耐力計算 解説書」を参照ください。



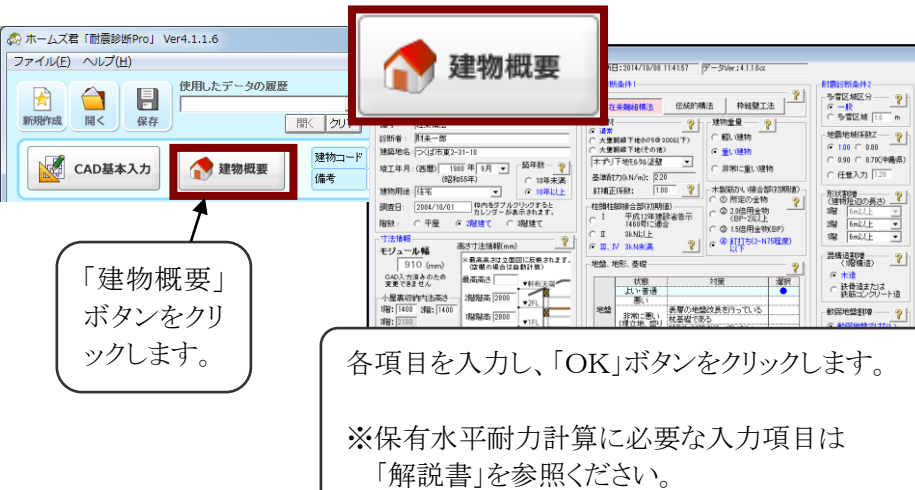
① 新規作成・耐震診断法選択



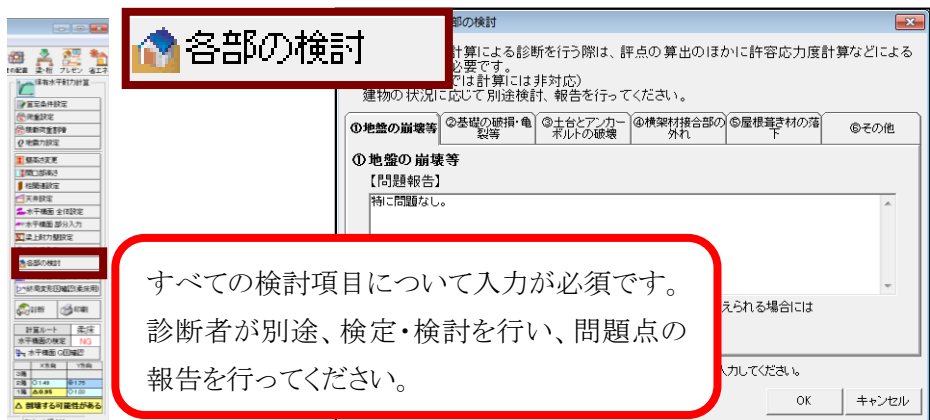
⑤ 計算項目の入力



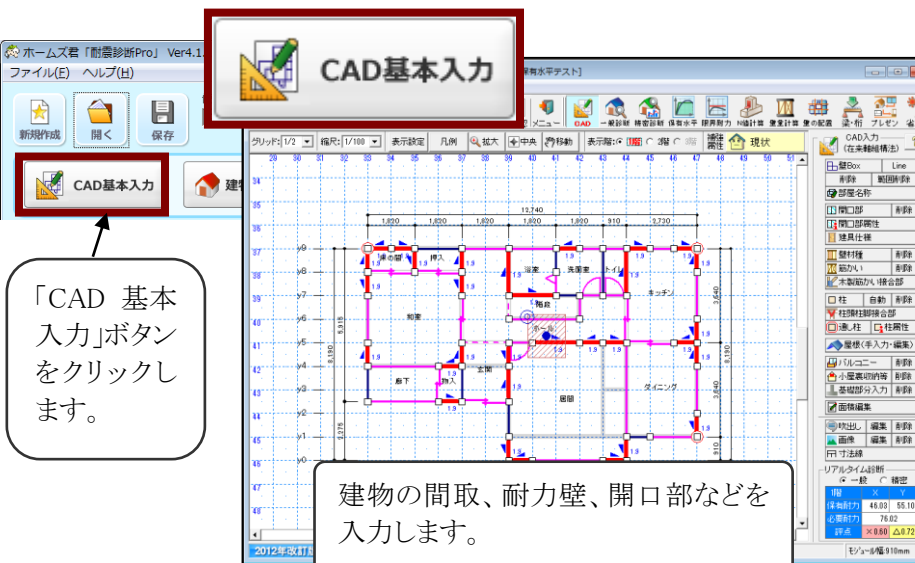
② 建物概要



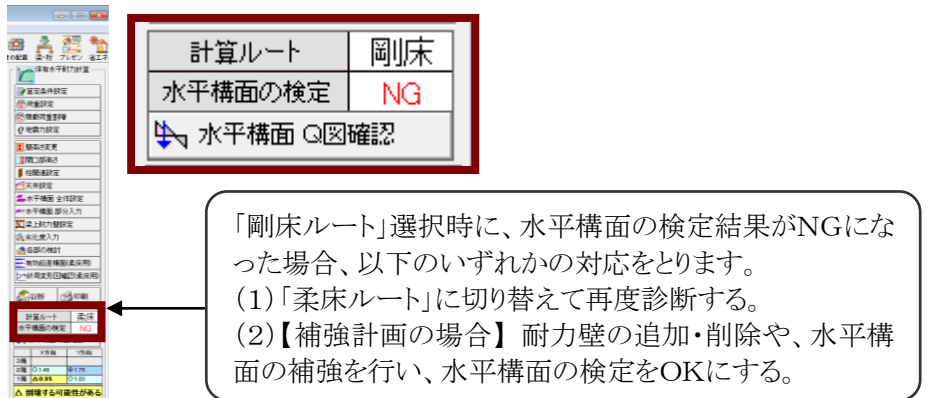
⑥ 各部の検討



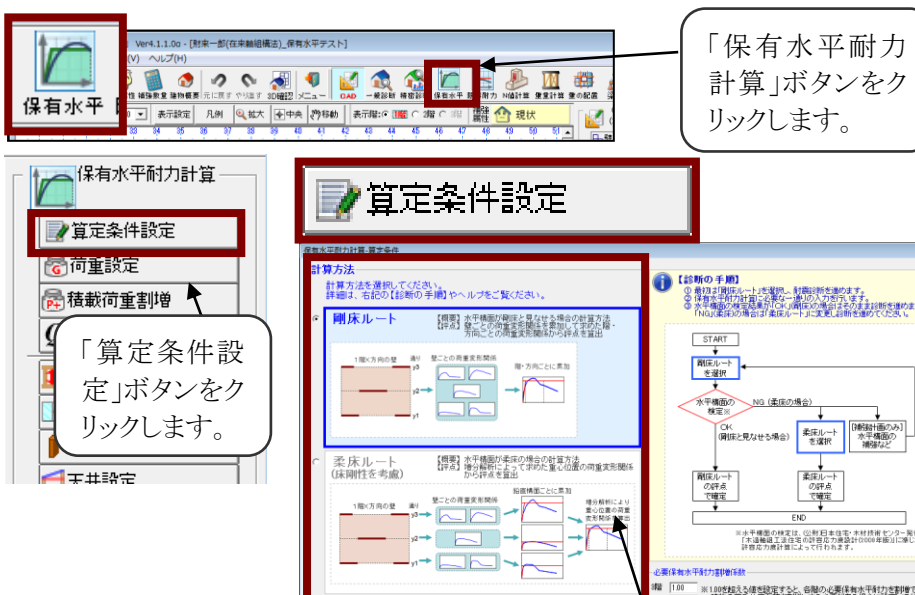
③ CAD入力



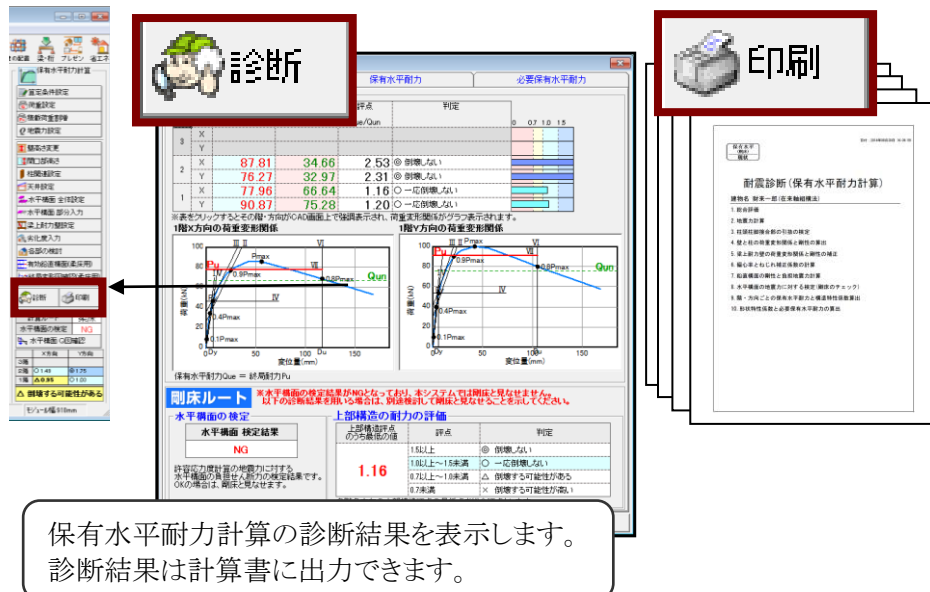
⑦ 水平構面の検定



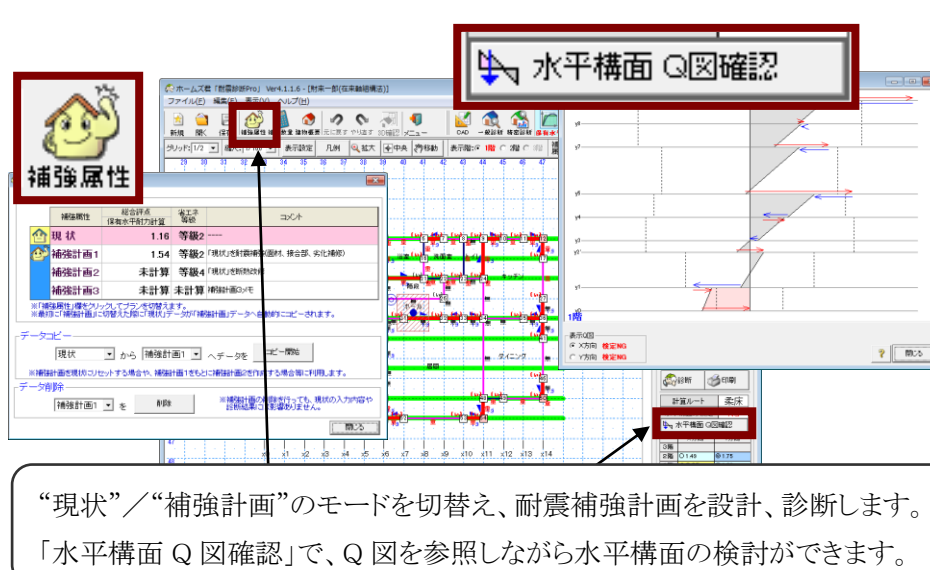
④ 保有水平耐力計算モード・計算ルート選択



⑧ 診断・印刷



⑨ 補強計画の作成



保有水平耐力計算では、建物の水平構面が剛床であると見なせるか否かで、計算方法が剛床ルート/柔床ルートに分岐します。初回は、剛床であると仮定して「剛床ルート」を選択してください。